

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】令和6年3月6日(2024.3.6)

【公開番号】特開2022-165600(P2022-165600A)
【公開日】令和4年11月1日(2022.11.1)
【年通号数】公開公報(特許)2022-201
【出願番号】特願2021-71002(P2021-71002)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

【FI】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 3 4

10

【手続補正書】

【提出日】令和6年2月27日(2024.2.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可変表示を実行し、有利状態に制御可能な遊技機であって、
可動体と、
可動体制御手段と、を備え、
通常状態と、該通常状態よりも有利な特別状態と、があり、
所定表示領域に前記有利状態に関する所定表示を表示可能であり、
特別表示領域に前記特別状態中に態様が変化可能な特別表示を表示可能であり、
前記所定表示領域における前記有利状態に関する所定表示は、前記特別状態中に態様が
変化せず、
前記可動体制御手段は、電源投入がされた場合、前記可動体が正常に動作することを確認
するための動作により該可動体を動作させる確認動作制御を行うことが可能であり、
前記確認動作制御は、前記特別表示領域に対して、前記所定表示領域よりも前記可動体
が重畳しないように該可動体を動作させる制御であり、
電源投入がされたときに、特定識別情報の可変表示の結果を示す複数の発光手段の制御
である特定識別情報発光制御を行うことが可能な遊技制御手段をさらに備え、
前記可動体制御手段は、前記特定識別情報発光制御が開始された後に前記確認動作制御
を開始することが可能である、
ことを特徴とする遊技機。

30

40

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(α) 可変表示を実行し、有利状態に制御可能な遊技機であって、
可動体と、
可動体制御手段と、を備え、

50

通常状態と、該通常状態よりも有利な特別状態と、があり、
所定表示領域に前記有利状態に関する所定表示を表示可能であり、
特別表示領域に前記特別状態中に態様に変化可能な特別表示を表示可能であり、
前記所定表示領域における前記有利状態に関する所定表示は、前記特別状態中に態様が
変化せず、

前記可動体制御手段は、電源投入がされた場合、前記可動体が正常に動作することを確認
するための動作により該可動体を動作させる確認動作制御を行うことが可能であり、

前記確認動作制御は、前記特別表示領域に対して、前記所定表示領域よりも前記可動体
が重畳しないように該可動体を動作させる制御であり、

電源投入がされたときに、特定識別情報の可変表示の結果を示す複数の発光手段の制御
である特定識別情報発光制御を行うことが可能な遊技制御手段をさらに備え、

前記可動体制御手段は、前記特定識別情報発光制御が開始された後に前記確認動作制御
を開始することが可能である、

こと特徴としている。

(1) 手段1に記載の遊技機は、

特定識別情報の可変表示を実行し、特定識別情報の可変表示の結果として特定表示結果
(例えば、大当り)が導出されることで遊技者にとって有利な有利状態(例えば、大当り
遊技状態)に制御可能な遊技機(例えば、パチンコ遊技機1)であって、

可動体(例えば、盤上可動体32A、盤下可動体32B、枠上可動体132SG01、
チャンスボタン631B)と、

遊技制御手段(例えば、CPU103)と、

表示手段(例えば、画像表示装置5)と、

可動体制御手段(例えば、演出制御用CPU120)と、を備え、

前記可動体制御手段は、電源投入がされた場合、前記可動体が正常に動作することを確認
するための動作により該可動体を可動させる確認可動制御を行うことが可能であり(例
えば、演出制御用CPU120が図31及び図32に新す動作確認制御処理を実行すること
で、盤上可動体32A、盤下可動体32B、チャンスボタン631B、枠上可動体13
2SG101のイニシャル動作を行う部分)、

前記遊技制御手段は、特定識別情報の可変表示の結果を複数の発光手段により示す特定
識別情報発光制御を行うことが可能であり(例えば、CPU103は、可変表示の停止時
に特別図柄を構成する複数のランプを可変表示結果に応じた組み合わせにて点灯可能な部
分)、

前記表示手段は、電源投入がされた場合、起動準備表示(例えば、図102(D)に示
す起動準備表示132SG500)を表示することが可能であり、

電源投入がされた場合、

前記起動準備表示の表示が行われ(例えば、図103(A)に示すように、起動準備
表示132SG500が表示される部分)、

その後、前記特定識別情報発光制御が行われ(例えば、図103(A)に示すように
、特別図柄表示装置4A、4Bを構成する特図ランプがはずれを示す態様にて発光されル
ブ分)、

その後、前記確認可動制御が行われる(例えば、図103(A)に示すように、各可
動体のイニシャル動作が実行される部分)、

ことを特徴としている。

この特徴によれば、遊技機への電力供給が開始されたことを起動準備表示により認識し
やすく、遊技への影響度が高い特定識別発光制御を確認可動制御により動作する可動体に
気を取られずに確認可能な遊技機を提供することができる。

10

20

30

40

50